

離しなさいッ！
いくら天竜人といえど！

がきゅん

こんな事ッ！
許されていい
はずないわっ！

黙るえッ！
お前たちのせいで
ペットを採り
逃がしたえッ！

その責任を
とってもらえッ！
ほら早くやるえ！

イヤアアアッ！
やめっ！離してッ！お願いッ！

それだけはイヤッ！

ムッ

ッ

モア

モッ

ムッ

いません……ッ

すいません
でしたッ

今日から……あ
奴隷5号として
チャルロス聖様に
尽くしたいと
思います……ッ

これから存分に
使ってやるから
覚悟するえっ！

びくっ

びくっ

びくっ

びゅっ

どろお

ッ

ッ

びくっ

びくっ

「ようろじくおねがい

します……ッ

失礼します。

遅いえ。

嫁4号が気絶したから
お前を呼んだえ。
いつものヤれえ。

承知しました。

いつものですね。急いで準備します。

元
アラバスタ王国
王女
奴隷V号

「おッおッ！」

良いえッ奴隷5号ッ！

れろっ

れろっ

その下品な胸でもっと
圧迫するえッ！おほおっ

しっろっ

びん

びん

イクえッ
「いっ……」

びん

びん

びん

「お♡」

ゆさっ

ゆさっ



出うツえ♡

最初は泣きわめいて
うるさかった5号が
こんな成長するなんて
思わなかったえ。

次は下の穴でも
使ってやるえ。
楽しみにしとくえ。

……ッ♡

はぁ

……はい。
ありがとうございます。

はぁ

どし、

どし、











